

~~~~~院長コラム~~~~~

「水平線」 Vol.1 (2025 年 10 月)

【8 月に有田に、有田市立病院に来て】

川は河口から海に注ぐが、和歌山県内で町並が川から海沿いにこれだけ開けているところを私は知らない。河口から海に向かって切れ目なく暮らしの営みが感じ取れるのは、和歌山県では有田川が唯一ではないだろうか。

ここにかかる有田大橋の上はとても気持ちがよく、夕方になると夏でも海風が涼しい。そしてそこからのぞむ紀伊水道の夕焼けは、風と共に穏やかさも感じさせてくれる。私がこの地に来て良かったと、最初に思わせてくれた風景だ。

以前和歌山市と紀南地方を定期的に往復していた頃、自動車道から見える里山の風景が場所によって変わることに気がついた。それは海南から御坊までが蜜柑畑、御坊から田辺までは梅畑になることだ。早春は紀中紀南に薄桃色の梅の花、晩秋は紀中紀北に黄金色の蜜柑で山が染まる。蜜柑も梅も日本一の生産を誇る、和歌山ならではの風景だと思う。

さて 8 月に就職した私にとっては、秋の暮れにこの地の里山に染まる黄金色を心ゆくまで見られるのがとても楽しみだ。そして来年、桜の季節が過ぎた後に、蜜柑の花の香りを楽しめるのも待ち遠しい。

筆者より：2025 年 10 月よりこのコラムを掲載します。自分が思ったこと、感じたこと、今考えていることや昔のことなど、医学とは無縁の話も多いかも知れません。1 分か 2 分で読める分量で、月 1 回更新する予定です。